

2020年4月27日(月)

週刊循環経済新聞掲載

経済新聞

(第3種郵便物承認)

第1486号

シューマン

業務用脱臭装置の販売好調

労働環境改善や近隣配慮で

を搭載。活性炭では取り除きにくい高濃度のアルデヒド類を化学反応させ、低濃度まで吸着する。臭いの分子がフィルターから離れに

585×高さ1846
×奥行537mm。
中規模工場・工房向けの「クレイックMA-02A」が幅300×高さ1094・

竹中工務店は、仕上
事における現場の進
捗管理をパソコンやモ
バイル端末で容易に管
理できるアプリ「位置
把握」を開発した。作
業員がスマートフォン

プラスチックリサイクル機器展示 商談とテストの拠点に

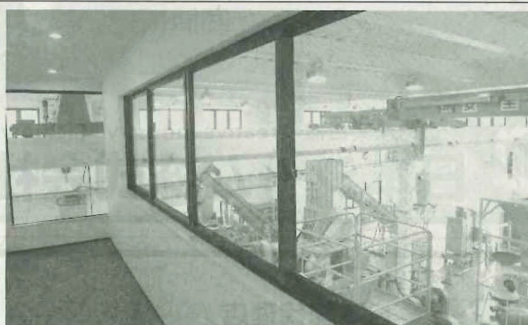


日本シーム

商談とテストのための新拠点

日本シーム(本社・埼玉県川口市、木口達也社長、☎048・298・7700)は4月、プラスチックリサイクル関連機器のショールームを併設した鉄筋3階建ての新社屋を開設した。1階のショールームには廃プラ全般のリサイクルのための一貫ラインや各種粉碎機などを展示。オフイスは間仕切りに透明ガラスを採用し、スタンディング型ミーティングエリアをセンターに設けるなど各部署の社員がコミュニケーションしやすいレイアウトになっている。

同社はプラスチックのマテリアルリサイクルなどに向けた洗浄粉碎機や乾式粉碎機、破砕機、微粉・細粒機、切断機、乾燥機、洗浄脱水機、選別機、分離機、搬送装置、混合装置などの専門メーカー。開発設計から製造、



2階からショールームを
観ることができる

販売、メンテナンスまでを一貫体制で行っている。最近では、複数の樹脂が混合した廃プラスチックを水流で効率的に選別する「なる」と型」の最新機種の販売を開始した。新社は、従来の本社工場の隣接地に建設した。リサイクルへの要望が高度化、多角化する中、併設したショールームでは、顧客と述べている。木口社長は、「オリジナルの自社製品が多く、それらの製品でラインを組めることが私たちの強み。リサイクルの高度化に向けて、新しい機械を楽しく作っていきけるようになりたい」と述べている。

竹中工務店

進捗管理アプリを開発

情報共有で作業効率化

現場の進み具合を棒グラフや進捗図等の形式で表示することがで